

栃木県老連だより

第144号

〈平成29年1月10日発行〉

栃木いきいきクラブ
(一財)栃木県老人クラブ連合会

〒320-8503
栃木県宇都宮市駒生町3337-1
とちぎ健康の森 2階

TEL:028-621-4787
FAX:028-621-4767

単位老人クラブ数 1,695団体

会員数 70,729人

発行部数 8,100部

発行 年4回 (4・7・10・1月)

目次

● 県老連スポーツ大会が開催……………1	● 熊本地震募金の結果……………10
● 新年のあいさつ 会長……………2	● 栃木いきいきクラブ大学校 第15期生卒業式……………11
● 新年のあいさつ 知事……………3	● 交通安全ミニ白書……………13
● 全国老人クラブ大会が開催……………4	● 「介護の日」フェスティバル……………16
● スポーツ大会の結果……………6	● 県老連女性リーダー研修会……………17
● 全国大会「大会宣言」……………6	● お知らせコーナー……………19
● 全老連女性リーダーセミナー……………7	● クイズコーナー……………19
● 地域いきいきコーナー……………8	

平成28年度 県老連スポーツ大会



10月13日(木)、平成28年度県老連スポーツ大会が、井頭公園軟式野球場を会場に選手・役員総勢800名が参加し、開催されました。

やや肌寒い気温でしたが、風はなくスポーツに適した気候で、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、輪投げの3種目に、県内各地から参加した105チームが熱戦を繰り広げました。

ペタンクとグラウンド・ゴルフについては、それぞれ栃木県・ペタンク・ブル連盟宇都宮市グラウンド・ゴルフ協会の全面的な協力を得て実施され、輪投げを併せ3種目ともスムーズな運営をすることができました。

各競技とも日頃の練習の成果を存分に発揮し、熱のこもった好試合が展開されました。

(関連記事6ページ)



共生社会の構築に向けた老人クラブの組織強化

栃木いきいきクラブ (二財) 栃木県老人クラブ連合会

会長 黒 圖 盛 男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から、県老連の諸事業の推進につきまして、多大なご支援・ご協力を賜り深く感謝いたします。

昨年は、県老連最大のイベント「第30回栃木県老人クラブ大会」を9月8日に開催しました。当日は未明まで県内に大雨警報が出ているなど、一昨年9月の同大会を中止にした関東・東北豪雨が頭をよぎりましたが、幸いにも天候が持ち直し大会を実施することができました。今年度はサークル活動発表会も同日開催であったことから、市町老連、単位クラブの皆さんには大変ご苦労をお掛けしました。ご協力に心からお礼申し上げます。

さて、県老連では、年々減少する会員数に歯止めをかけるべく、全老連の会員増強運動に呼応し、

平成二十六年度から本県独自の「一万人会員増強運動」に取り組んでいるところですが、個々のクラブでは一定の成果が見られるものの、全体としての会員増にはなかなか結びついていないというのが実状でございます。

一方で、我が国社会の高齢化は年々進み、今は4人にひとりが高齢者の時代になっていきますが、団塊の世代の全ての方が75歳以上の後期高齢者となる8年後の2025年には、高齢化率が30%を超えるとともに、高齢者世帯（高齢者の単身世帯及び高齢者の夫婦のみ世帯）の数が全世帯数の四分の一を超えるとも見込まれていきます。

国では、このような厳しい将来の地域社会を見据えながら、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らせるよう、2025年までに「地域包括ケアシステム」を構築するよう各市町に求めているところですので。この仕組みの中では、地域住民の皆さんが、行政に過度に

依存することなく互いに支え合うことが必要であり、言わば地域毎の「共生社会」の実現を目指したものであります。特に一人住まい等の在宅高齢者に対する日常生活支援や介護予防については、友愛訪問や見守り活動の経験が豊富な私たち老人クラブに対し、大きな期待が寄せられております。

老人クラブがこの期待に応えるためには、支援活動を行うことができる元気な会員の存在が不可欠で、その意味でもクラブ活動の活性化をもたらす若手高齢者の入会が求められるところです。こういった地域社会の課題を行政当局や自治会等の皆さんと共有しながら、今年も会員増強に向け、市町老連や単位クラブの皆さんと共に努力して参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

結びに、会員の皆様及び関係者の皆様にとって、この一年が幸運な年であることをご祈念し、新年のご挨拶といたします。

謹んで

新春の御祝詞を

申し上げます



(二財) 栃木県老人クラブ連合会

- | | |
|------|--------------------|
| 会長 | 黒 圖 盛 男 (日光市) |
| 副会長 | 東 原 勸 (宇都宮市) |
| 理事 | 井 口 康 光 (栃木市) |
| | 浅 井 二 (真岡市) |
| | 笠 原 晃 夫 (足利市) |
| | 野 城 平 四 郎 (佐野市) |
| | 小 島 正 幸 男 (鹿沼市) |
| | 新 井 幸 男 (小山市) |
| | 木 村 章 穂 男 (大田原市) |
| | 木 下 和 巳 男 (矢板市) |
| | 相 馬 一 彦 男 (那須塩原市) |
| | 大 場 文 彦 男 (さくら市) |
| | 高 田 博 博 男 (那須烏山市) |
| | 山 田 博 博 男 (下野市) |
| | 島 田 義 雄 男 (芳賀町) |
| | 宇 津 木 正 義 雄 (上三川町) |
| 常務理事 | 田 嶋 進 雄 (学識者) |
| 監 事 | 白 根 彰 男 (県老連) |
| | 大 川 洋 右 (栃木市) |
| 評議員 | 関 澤 昇 男 (市貝町) |
| | 川 島 常 男 (宇都宮市) |
| | 佐 々 木 明 郎 (宇都宮市) |
| | 柏 瀬 四 郎 (足利市) |
| | 大 阿 久 昌 夫 (栃木市) |
| | 安 岡 耕 三 (佐野市) |
| | 増 淵 太 吉 (鹿沼市) |
| | 伊 藤 直 樹 (日光市) |
| | 諏 訪 正 平 (小山市) |



新年のごあいさつ

栃木県知事 福田 富一

老人クラブの皆様、あけましておめでとうございます。

私は、昨年の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様から御支援をいただき、引き続き県政を担

わせていただくこととなりました。県内各地で県民の皆様の実

な声やふるさと”とちぎ”に対する熱い思い、県政への大きな期待を

お伺いし、改めて責任の重さを感じたところでもあります。引き続き

き、県民中心・市町村重視の県政運営を基本に、新たなとちぎの未

来を見据えつつ、創造力と行動力を十分に発揮しながら、戦略性を

もって県政の課題に果敢に取り組んで参る決意であります。

さて、昨年は、県政の基本指針である栃木県重点戦略「とちぎ元

気発信プラン」をスタートさせ、栃木県の将来像である「人も地域

も真に輝く、魅力あふれる元気な”とちぎ”の実現に向け、プラ

ンに掲げた各種プロジェクトを推進するとともに、喫緊の課題であ

る人口減少問題の克服と地域の活

力を維持するため、本県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とち

ぎ創生15（いちご）戦略」の取組を本格的に展開した年でありま

した。

引き続き、「元気発信プラン」及び「15（いちご）戦略」の着

実な推進はもとより、教育や子ども・子育ての支援、若者や女性の

活躍への支援など、自らの能力を発揮し、笑顔になれる「ひとが輝

く」とちぎづくりを進めるとともに、栃木県の強みを生かした多様

な産業の振興と安定した雇用の創出により、「成長力アップ」を

図って参ります。また、医療、介護、福祉の充実など、生涯にわた

り健康で安心して暮らせる「健康・安心」な社会の実現に取り組

むとともに、防災・減災対策や環境保全など、「強くしなやか」な

県土づくりを推進して参ります。さらに、スポーツ・文化の振興や

行財政基盤の強化により、「とちぎの「未来への礎を築く」ことが

できるよう、全力で取り組んで参

ます。

老人クラブの皆様におかれましては、今日まで培ってこられた豊

かな知識と経験を十分に発揮していただき、誰もが未来に希望を抱

き、ふるさとに誇りを持つてるとちぎづくりの担い手として、これま

で以上に御活躍いただくことを大いに期待しております。

知事4期目の新たな年を迎えるに当たり、私は、「allとちぎ」の先

頭に立って、栃木県の多くの「本物」に磨きをかけ、あらゆる分野

で「選ばれるとちぎ」の実現を目指すし、全身全霊を傾けて参ります

ので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、本年が老

人クラブの皆様にとつて素晴らしい年となりますよう、また、栃木

県老人クラブ連合会のみますの御発展をお祈り申し上げます、

新年のごあいさついたします。

評議員

大井 桂一 (真岡市)

池田 博 (大田原市)

関谷 夫 (那須塩原市)

野崎 眞 (那須塩原市)

佐藤 善行 (下野市)

谷口 正己 (益子町)

毛塚 重徳 (壬生町)

仙波 清之 (高根沢町)

小倉 節子 (栃木市)

星 阿サイ (上三川町)

鈴木 康子 (鹿沼市)

小倉 節子 (栃木市)

星 阿サイ (上三川町)

安納 房江 (宇都宮市)

井澤 知子 (宇都宮市)

大塚 セツ子 (足利市)

山崎 夕力 (佐野市)

尾崎 栄子 (日光市)

山口 洋子 (小山市)

山崎 千寿代 (真岡市)

増淵 芳子 (大田原市)

大谷 節子 (矢板市)

永井 美知 (那須塩原市)

磯嶋 トミ (さくら市)

森 芳子 (那須烏山市)

秋山 福子 (下野市)

田辺 節子 (市貝町)

細内 朋子 (壬生町)

山野 公子 (野木町)

兼子 テル子 (塩谷町)

大久保 ミエ子 (高根沢町)

大和田 法子 (那須町)

川上 孝子 (那珂川町)

女性委員会

委員長 鈴木 康子 (鹿沼市)

副委員長 小倉 節子 (栃木市)

委員 星 阿サイ (上三川町)

安納 房江 (宇都宮市)

井澤 知子 (宇都宮市)

大塚 セツ子 (足利市)

山崎 夕力 (佐野市)

尾崎 栄子 (日光市)

山口 洋子 (小山市)

山崎 千寿代 (真岡市)

増淵 芳子 (大田原市)

大谷 節子 (矢板市)

永井 美知 (那須塩原市)

磯嶋 トミ (さくら市)

森 芳子 (那須烏山市)

秋山 福子 (下野市)

田辺 節子 (市貝町)

細内 朋子 (壬生町)

山野 公子 (野木町)

兼子 テル子 (塩谷町)

大久保 ミエ子 (高根沢町)

大和田 法子 (那須町)

川上 孝子 (那珂川町)

第45回 全国老人クラブ大会(富山大会)開催される

……本県老連も大きな役割を持って参加

メインテーマ：「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」



▲第2部会会場の様子

第45回全国老人クラブ大会が、11月9日(水)～10日(木)、富山県富山市の「富山市芸術文化ホール」(オーバード・ホール)の会場において開催されました。

大会初日は活動交流部会が行われ、第1部会・地域に健康づくり・介護予防活動の輪を広げよう！、第2部会・未設置地区にクラブを作ろう！、第3部会・演じる活動、の3つの部会に分かれて、パネルディスカッションと舞台発表が行われました。今回の活動交流部会では、栃木県老連は大きな役割を果たしました。第1部会では本県老連の黒圖盛男会長が座長を務め、部会の円滑な運営に大きく貢献しました。また、第2部会では小山市老連が事例発表3団体の一つに選ばれ、神川清元会長と事務局の武田浩伸氏の2名により「新規クラブ結成で会員数大幅増を目指して」PRとサロン活動を通して「と題した発表が行われました。発表後の質疑では、資料として添付した小山市長・小山市老連会長連名による自治会長あての「老人クラブ結成への協力依頼」通知が話題となり、小山市老連の行政と連携したクラブ設置や会員増強運動について、会場に参加し

ている全国のクラブから多くの質問を受けるなど、大いに注目されました。また、第3部会の舞台発表では、創作ダンスや伝統芸能が披露され、その見事な出来映えに会場から大きな拍手が送られておりました。

2日目は、まず、富山市長の森雅志氏による「健康寿命の延伸を目指して」と題した講演が行われました。その後式典に移り、主催者あいさつに続き全老連会長表彰が行われ、本県からは、育成功労者2名と優良団体として1老連1クラブが受章されました。

大会の最後に採択された大会宣言は、別掲(P6)のとおりです。

来年の第46回全国大会は、平成29年10月18日(水)～19日(木)の日程により、京都府での開催が予定されています。



▲座長を務める黒圖会長



▲小山市老連の神川氏と武田氏



▲本県から全国大会に参加された皆さん



▲受章者並びに受章団体代表の皆さん

○表彰を受けられた皆さん

◆老人クラブ育成成功労表彰

黒圖 盛男氏

(栃木県老連会長、日光市老連会長)

水沼 泉氏

(元栃木県老連副会長、元真岡市老連会長)

◆優良老人クラブ表彰

フィオーレ和会

(会長・原正宏氏、さくら市いきいきクラブ連合会)

◆優良老人クラブ連合会表彰

那珂川町老人クラブ連合会

(会長・小泉哲也氏)

この通知が、分科会参加の皆さんの大きな関心を集めました。老人クラブへの加入促進やクラブ活動の活性化に、地元自治会との連携は大きな力になります。しかしながら、なかなか実現が難しいというのが現実です。これは全国共通の課題でもあります。このため、この市長さんと連合会長の連名による各地域の自治会長さんあての通知が注目されたのです。会場からは、自分の所でも是非参考にしたいという声が多く聞こえました。

参考

平成28年 8月1日

自治会長各位

小山市長
大久保 寿夫
小山市老人クラブ連合会長
新井 幸男

老人クラブ結成のお願い

残暑の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、常日頃より老人クラブ事業に関し、多大なるご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。小山市老人クラブ連合会は、昭和39年4月1日に発足し、平成3年度の165クラブ、会員数8,800名をピークに減少してまいりましたが、昨年度は19クラブが会員5人以上増を達成いたしました。これもひとえに自治会長様をはじめ役員の皆様のご多大なる御支援、御努力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、老人クラブの三大活動である「健康、友愛、奉仕」は、地域社会において高齢者同士の相互支援活動であり、高齢化社会を支える大きな力であると確信しております。小山市では、今後ますますの老人クラブの活性化のため、平成26年度より「若手会員奨励金」交付を加え、老人クラブ育成事業を展開しております。また、思桜会としても、思桜会「1000人増強運動」の下、さらなる会員増強を目指しております。つきましては、是非、単位老人クラブの結成に向けてご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

(参考)

- ◆老人クラブ育成事業(各奨励金)について
 - 新規結成奨励金…単位老人クラブ新規結成または再結成した場合20,000円
 - 若手会員奨励金…新規結成クラブに65歳以下の会員が5名以上加入している場合、新規結成奨励金に30,000円を加算
 - 会員5人以上増達成奨励金…基準日(6/1、12/1)に会員数が6人以上増加した場合10,000円
 - ◆単位老人クラブ活動費補助金について ※新規結成年度(初年度)は、月割りで交付します。
 - 会員割補助金…会員一人当たり700円(今年度から500円から700円へ増額)
 - 均等割補助金…年間36,000円
 - ◆思桜会「1000人増強運動」について
別添資料を参照
 - ◆老人クラブ結成促進用チラシについて
チラシ2種類を添付いたしましたので、ご利用ください。
- ◎新規結成までの流れと届出いただく書類(補助金申請書一式は除く)を同封いたしましたので、ご利用ください。
1. 「老人クラブを立ち上げよう!!」
 2. 老人クラブ結成届
 3. 老人クラブ会則(ひな型)
 4. 老人クラブ会員名簿(概ね60歳以上で、10人以上)

【問い合わせ先】

小山市保健福祉部高齢生きがい課
TEL
メールアドレス

県老連スポーツ大会の結果

第22回 ペタンク大会

優勝 弥生会 A (宇都宮市)

準優勝 神明町長寿会 (小山市)

第3位 双葉1丁目長寿会 B (宇都宮市)

第3位 中久保長寿会 A (宇都宮市)

第22回 グラウンド・ゴルフ大会

団体

優勝 富田シニアクラブ
(矢板市) 打数338

準優勝 上箆谷長生会
(宇都宮市) 打数352

第3位 光陽台シニアクラブ
(高根沢町) 打数361

個人

優勝 高橋一吉
(富田シニアクラブ・矢板市) 打数43

準優勝 黒須邦昭
(石下さくら会・市貝町) 打数47

第3位 篠原捷子
(一里福寿会・宇都宮市) 打数48

第32回 輪投げ大会

団体

優勝 西田長寿会
(宇都宮市) 1,186得点

準優勝 黒木橋中部福寿会
(宇都宮市) 1,182得点

第3位 太田シニアクラブ
(高根沢町) 1,151得点

個人

優勝 伊藤信夫
(西田長寿会・宇都宮市) 295得点

準優勝 菊地郁夫
(黒木橋中部福寿会・宇都宮市) 271得点

第3位 若林三雄
(北犬飼津田長寿会下深津・鹿沼市) 262得点

計 報

本会副会長小泉哲也氏におかれましては、十二月十四日御逝去されました。ここに、生前の御功績をたたえ感謝申し上げます。又と共に、謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



宣 言

老人クラブは仲間づくりを基本に、生きがいづくり、健康づくり、地域づくりをめざして幅広い活動に取り組んできました。高齢者が増え続けるのが国は、要介護者の増加や高齢者の孤立、消費者被害などの課題に直面するなかで、いま全国の市町村では、新地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)に取り組み、地域で高齢者を支える体制の整備が急がれています。私たち老人クラブは、これまでの活動経験をもとに、高齢者の暮らしを支えるため、行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、あたたかな地域づくり活動への参画をめざしてまいります。

一方、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の中間年を迎え、声かけや体験型の勧誘のほか、特に自治会と連携した新たなクラブの立ち上げによる成果など、これまでの成功例に学び、さらに運動の強化に努めたいと思います。

豊かな自然環境に恵まれ、「人が輝く元気とやまの創造」をめざす富山県に集う私たちは、自らが輝き、「のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援事業」への参画
- 一、老人クラブ「一〇〇万人会員増強運動」の推進
- 一、健康寿命をのばす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、消費者被害防止キャンペーンの展開
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

平成二十八年十一月十日
第四十五回 全国老人クラブ大会

第28回 全国女性リーダーセミナーに参加して

宇都宮市老連(単位クラブ会長)

小池 ノブ子



女性リーダーセミナーが10月5日(6日、全国社会福祉協議会会議室で開催され、都道府県指定都市老連の女性リーダー124名が参加しました。

研修内容、第1日目は、全国老人クラブ連合会常務理事、斉藤秀樹氏による「基調報告」及び厚生労働省老健局振興課予算係長、唐島啓一氏による「行動報告」があり、続いて4県の代表者による「活動報告」がありました。

内容は、高齢者の状況説明で、2025年には65歳以上の人は3割を超え75歳以上の人は、特に都市部で急速に増加する見込みで、それに伴い認知症高齢者や要介護認定者の割合が多くなる。又、100歳以上の人が本年9月の調査によると日本全体で、6万5692人で、男性が1割、女性が9割。長生き県は沖縄、人数からすると1位鳥根県、2位鳥取県とのことでした。

介護保険法は2000年に始まりましたが平成29年度までに、今まで全国一律であった要支援者に対する介護が各市町村での新地域支援事業に移行されます。住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住居、生活支援が一体的に提供された地域包括ケアシステムが大事であり、元気な老人クラブの人達が手助けをした

ら、介護保険を使わなくても済むはずと話されました。

次に、振り込め詐欺被害についての話があり、昨年度の被害総額は約477億円で金額は若干減少しましたが、件数は増加し、被害者の9割以上は高齢者、特に女性とのことでした。

2日目は、分散会と全体会が行われ「解散クラブを防ぐ取り組み」及び「新しいクラブづくりに向けた取り組み」をテーマに話し合いました。私は、群馬県、埼玉県、岡山県、広島県の方達とのグループでした。主な意見は、「役員のなり手がない」「後継者がいない」「女性会長の奨励」「会長の仕事を直し役割分担をする」「補助金提出書類の簡素化」等があり「新しいクラブづくりに向けた取り組み」については「自治会への働きかけ」「老人クラブのイメージを良くする」「楽しい、面白いクラブづくり」等で、活発な意見が交わされました。その後、全体会で代表者が発表し午後2時に閉会しました。

1泊2日の研修会を通し、これから迎える高齢化社会に、私達はどの向き合っていくらよいか、各自の自覚も大切ですが、私達老人クラブの責務は大きいと思いました。特に会員の6割を占める女性会員に期待が寄せられていることを実感しました。元気で楽しいそして互いに支え合うクラブを目指したいと思いました。

「第28回 老人クラブ女性リーダーセミナー」に参加させていただきました 「示そう！女性パワー！」 高根沢町シニアクラブ 副会長 女性部長 大久保 ミエ子



現在老人クラブでは「100万人会員増強運動」「新地域支援事業」に向けての行動提案「高齢消費者被害防止キャンペーン」を展開しています。市町村老連における中心的な女性リーダーの取り組み状況を持ち寄り、推進についての研究等協議をしました。

1日目は午後より新地域支援事業(新しい介護予防・日常生活支援事業)について厚生労働省老健局振興課の係長より現況の説明がありました。要介護が高くなる昨今75歳以上の人口が増加、保険料負担者である40歳以上人口は減少しています。高齢化の進展により、保険料の上昇が見込まれるため、地域包括ケアシステムの構築を図り、介護保険制度の持続可能性の確保の為に新地域事業として地域包括支援センター・ケアマネジャー等、相談業務やサービスのコーディネートを行います。現在介護要員が減少傾向にあり、補助要員として老人クラブ、自治会、ボランティア、NPO等をお願いし、在宅系サービス(訪問介護、訪問看護、通所介護)、介護予防サービス、施設・居住系サービス(介護老人保健施設・介護老人福祉施設・認知症共同生活介護・特定施設入所者生活介護)を各都道府県・市町村社会福祉協議会が地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた作り上げていくことが必要です。

生活支援サポーター養成講座も老人クラブ女性には率先して受講し、生活支援・介護予防サービスの充実をはかり、女性パワー全開で生活支援サービスを提供しようではありませんか。介護施設の事業所もデイサービスや入居者が多く長期間待たないと入居できない状態です。高齢者が住み慣れた地域で生き生きと生活していくための事業とあります。高根沢町シニアクラブでは、会員5名が生活支援サポーターを受講し、活躍しています。

事例発表も新地域事業に関連する活動報告で、友愛活動(声かけ、電話による安否確認・買い物・外出・ゴミ出しなど生活上の手伝い)、一人暮らしの会員の話し相手など定期的に行っているそうです。

2日目は分散会での進め方。休会・解散クラブの原因は?会員増強運動を討議しました。

- ① 会長が辞める、役員がまわってくる前に辞める、女性に会長をさせない風土がある、ワンマン会長がいる等
- ② 対策・・・楽しさや意義の共有をもつ、会長を男性と決めない、解散状況の情報を早期にキャッチ、リーダー・役員候補を育成する、サロンは老人会員であることを条件とする、少人数のクラブでも立ち上げる、役員を多くつくる等大変意義あるセミナーで、会員増強、生活支援サポーター(健康・友愛・奉仕)を支援したい活動をしていきたいと思っています。



かぼちゃ まんじゅう作り

宇都宮市 お元氣くらぶ山王会
会長 井沢 知子

「お元氣くらぶ山王会」では、10月28日、会員の滝田みつ江さんを講師として、山王団地内の集会所で「かぼちゃまんじゅう教室」を開催しました。

県北が郷里の滝田さんは、子供の頃の懐かしい味が忘れられないと一念発起し、試作を何度も重

ね、かぼちゃまんじゅうのレシピを完成させたのです。

当日は、男性会員を含む24名が参加し、2班に分かれ、滝田さん指導のもと、まんじゅう作りに励みました。

中にこし餡を入れ、生地にかぼちゃを練り込んだかぼちゃまんじゅうは、蒸し上げるとツヤツヤとした黄金色に。

手作り感満載のまんじゅうもありましたが、上々の出来栄で、皆大喜び。温かいうちに、お茶とともにパクリと…

「これなら外に向けて売れるんじゃない！」などという、嬉しい言葉も飛び交い、次回への期待も膨らみました。

1月12日には、「郷土料理の食事会」を計画しています。

滝田さんは、しもつかれ名人でもあるのです。この日は、しもつかれのほかに、赤飯、きんぴらもセットで作ることとしており、富屋地区全体に声掛けをして盛り上げていく予定です。



輪投げ愛好会の活動を通して

那須塩原市
西那須野地区老人クラブ連合会
輪投げ愛好会会長 佐々木 世紀

西那須野地区老人クラブ連合会は、昭和39年に結成されました。当初は「輪投げ会」の名称で大会を実施していましたが、大会への参加チームは現在のように多くはありませんでした。その後、次第に輪投げの愛好者が増えたことにより、規約等を整え「輪投げ愛好会」としてスタートをしたのは平成になってからで、それを機会にほとんどの単位クラブが、輪投げ愛好会に加入し、今日のような隆盛を見るようになりました。

輪投げ愛好会がその活動を通して目指すものは、健康づくりや仲間づくりに努めることにあります。

大会は年間5回で、参加チームは1単位クラブ複数の参加も見られ、1回30近いチームの参加により、熱戦がくり広げられています。団体賞は3位まで、個人賞は男女別に20位までを表彰しま



す。各チームとも入賞を目指して、練習に励んでいます。

今、どこでも会員の減少が問題視される時、輪投げやグラウンド・ゴルフが会員減少に一定の歯止めの役割を果たしていることを、垣間見ることが出来ます。

去る11月17日に、本年度を締めくくる最終回の大会が実施され、シーズンオフを迎えましたが、どのチームも来年度に向けて、練習に打ち込む様子が目に浮かびます。



**楽しいと思える
クラブづくりを目指して**

小山市間々田地区老人クラブ連絡協議会
会長 **福田 重昭**

私たち、間々田地区老人クラブ連絡協議会は、明るく健康で豊かな人生を送ることを目指しております。現在は、20クラブ800名の会員がいます。他地区協議会同様、高齢のため行事に参加できな

い会員が増えているのが現状です。

事業内容としましては、グラウンド・ゴルフ、輪投げ、フラダンス、ウォーキング、マGEDーツ等、健康増進事業のほか、教養講座として、年間4回の研修会を行っております。

友愛活動として、各単位クラブにおいて「ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業」等を行っております。特に間々田2丁目華の会においては「特別養護老人ホーム穂の香苑」との「地域との交流フェア」と題して、老人クラブが各行事等に参加し楽しく交流しています。

現在は健康寿命も延び、長い老後生活を送る時代となりましたが、いきいきとした人生を送れるよう老人クラブを知っていたいただき、少しでも興味を持っていただきたいと考えています。そのためにも会報を作り、自治会のみならずに回覧しています。そして、新しい会員を多く迎えて、無理せずゆつくりと活動の展開をしていきたいと思っっている毎日です。



**子どもたちの
安全を願って**

那珂川町老人クラブ連合会
副会長 **藤田 和夫**

11月9日・10日に富山市で行われた全国老人クラブ大会で、「子ども見守り隊」の活動が認められ、優良老人クラブ連合会として県で唯一表彰されました。

この事業は平成25年に町社協と連携して見守り隊を結成し、子どもたちが通学に利用するバス停や交差点等交通量の多い場所を中心に、朝夕の登下校時に安全を図る見守り活動を行っているものです。隊員は約300名です。保護者からはもちろん、地域や行政等からも安全・安心なまちづくりに貢献していると感謝されています。

また、本年度は運動会の統一という大きな課題が解決されました。平成17年に馬頭町と小川町が合併して以来、会場や参加人数・交通等の問題で、両地区別々に運



動会が行われていましたが、10月7日に初めて合同運動会が実施されました。総勢512名が一堂に会して様々な種目のもと他地区の人たちと交流を深めながら、元気に運動会を楽しんでいました。今後、今後も明るく楽しく元気よく、そして仲よく活動していきます。

熊本地震災害救援募金の取り組み結果について



昨年4月に発生した熊本地震災害に対する救援募金につきましては、4月25日付け栃老連第25号の会長名通知により、各市町老連会長あて取組み要請を行ったところですが、取組みの結果は下表のとおりでした。

ご協力いただいた募金は総額3,978,080円になりました。2回の集約後、熊本県老連事務局にそれぞれ送金したところです。熊本県老連からは丁寧なお礼の手紙をいただいております。ご協力大変ありがとうございました。

熊本地震災害救援拠金

平成28年10月31日

市町名	事 項		合 計	市町名	事 項		合 計		
	第1回 金額(円)	第2回 金額(円)			第1回 金額(円)	第2回 金額(円)			
市	宇都宮市	2,400,517	2,400,517	町	茂木町	95,900	95,900		
	足利市	227,000	227,000		壬生町	75,000	75,000		
	栃木市	135,047	135,047		野木町	30,000	30,000		
	鹿沼市	25,416	25,416		塩谷町	31,000	31,000		
	小山市	303,300	29,500		332,800	高根沢町	179,181	179,181	
	真岡市	80,000	80,000		那珂川町	5,080	13,500	18,580	
	大田原市	115,965	115,965		合 計	3,681,310	296,770	3,978,080	
	矢板市	149,285	8,417						157,702
	那須塩原市	73,972	73,972						

※大田原市の募金額は、振込手数料 540 円を除いた額である。

栃木いきいきクラブ大学校 第15期生40名が卒業

◀ 答辞を述べる川上孝子さん



平成28年度「栃木いきいきクラブ大学校」は、7月27日の入学式から毎月1日から4日のペースで、延べ15日間、58時間の講座を終え、11月30日無事卒業式を迎えることができました。

「老人クラブの歴史と現状、今後の展開」でスタートしたこの大学校も、「県老連の現状と

皆さんへの期待」「老人クラブ会計の基礎について」など、老人クラブ運営に必要な基礎的な講座から、「見て触れて覚えようパソコン」や「手作りの物を作ろう（折り紙）」で思いがけず自身の能力を発見したり、「県南方面の史跡と文化を訪ねる」「野外学習で、安藤勇寿「少年の日」美術館での色鉛筆の絵にどこか懐かしさに魅せられ、安藤先生が登場されたのには、参加者全員感動で、記念写真に収まりました。

仲間同士大いに交流を深めたりと、多彩な講座内容に毎日が充実した中身の濃い5か月でありました。

「この大学校で学んだことをそれぞれの地域に持ち帰り、老人クラブの仲間とともに活動とおして心豊かな地域づくりに活かすことがこれからの役割である」という、卒業生代表川上孝子さんの答辞の言葉にあるように、皆さんのこれからの活躍が大いに期待されるところです。

講義風景



いきいきヘルシーライフ



共に考える介護生活



ハイキングの計画の立て方と実践



手作りの物を作ろう

第8回 『介護の日』フェスティバルinけんちょうに県老連も参加

11月12日（土）に栃木県庁で開催された「介護の日」に係る屋外イベントに、昨年に引き続き県老連も参加しました。



国の定めた介護の日は11月11日で、「介護についての理解と認識を深めるため、重点的に啓発を行う日」とされています。12日のイベントはこの日に合わせて行われたものです。

高齢化が進む地域社会においては、特に在宅高齢者に対する生活支援や介護予防の活動について老人クラブへの期待が大きいことから、当日は、県老連も共催団体としてテント内に啓発ブースを出し、広報紙や会員勧誘のチラシを配布したところでした。

また、県民広場に設けられた特設ステージでは、鹿沼市老人クラブ連合会の協力を得て、同連合会女性部の皆さんによる「いきいきクラブ体操」と「パドル体操」が披露されました。元気なシニア世代の姿を県民の皆さんに強く印象づけたと思います。



パドル体操の披露



応援に駆けつけた鹿沼市老連役員の方々と



県老連の展示ブース



テント側面には啓発用のパネルを展示

平成28年度

第2回女性リーダー研修会

11月22日(火)今年度第2回目の女性リーダー研修会が健康の森大会議室で開催されました。

研修会には県内13市町から53名の女性役員・会員や会長、事務局が4名参加し、午前中は宇都宮市老連小池ノブ子氏から、全老連女性リーダーセミナーの参加報告があり、全老連常務理事の基調説明や全国の女性会員の活動報告の後、白根沢県老連常務理事兼事務局長から「老人クラブの現状と女性リーダーへの期待」の講義を受けました。

午後は、いきいきクラブ体操、「新地域支援事業と女性会員の役割について」をテーマに8グループに分かれ、グループ討議し、さまざまな意見が出されました。



事務局長の講義



いきいきクラブ体操



鈴木女性委員長の挨拶



小池氏の報告

◆高齢社会一ロデータ

8年後の
2025年は
どんな年か
知っていますか？

●この年、団塊の世代(昭和22〜24年生まれ)の方が全員75歳以上の後期高齢者になる。

●この年、我が国の高齢化率は30%を超える。

(推計)

●この年、高齢者世帯(高齢者の単独世帯・高齢者夫婦のみの世帯)の割合が全世帯の1/4を超える。

(推計)

↓2025年は大事な年になります。この年を目的に住民同士の支え合い社会の構築が必要です。高齢者にもできる範囲で支える側の役割を果たすことが求められます。

お知らせコーナー

◆平成28年度の主な行事

- 2/13(月) 市町老連正副会長等研修会 (健康の森)
- 3/9(木) 市町老連事務局長会議 (健康の森)
- 3/15(水) 第2回理事会 (健康の森)

◆販売品紹介

○輪投げ用具 (送料・税込)

- ・用具一式 ケース付 13,232円 ケースなし 10,932円
- ・輪 (1組9個) 3,932円 ・棒 (1組9本) 3,132円
- ・ケースのみ 3,432円

○会員章 1個 1,000円

○みんなで歌う愛唱歌集 B6版200ページ 定価700円

◆老人クラブ傷害保険のご案内

いつでも、何歳からでも加入できる老人クラブ会員独自の傷害保険です。年額500円から加入できます。もしもの場合に備え、安心して活動をしましょう。

お問い合わせ・お申し込みは、市町老連又は県老連事務局まで。

◆老人クラブ賠償責任保険のご案内 (2014年新発売)

会員が活動中に、「誰かにケガをさせた」、「誰かのモノを壊した」などの事故への損害賠償保険です。一人年額100円の掛け金で、支払限度額1億円です。ただし、単位クラブの会員全員の一括加入が必要です。

お問い合わせ・お申し込みは、市町老連又は県老連事務局まで。

◆全老連監修「泣いて、笑って、昭和の子育て」のご案内

- ・定価 平成26年4月～ 1,080円 (税込・本体1,000円)
- ・荷造り・送料 1冊 200円、2冊以上 実費

○申込み・問い合わせ

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

電話：03-3581-5658 FAX：03-3597-9447

◆全老連発行教材のご案内

○高齢者向け体力測定ハンドブック

1冊 520円 (送料込) / 2冊以上 420円×冊数 (送料別)

○高齢者向け体力測定記録用手帳

1冊 240円 (送料込) / 2冊以上 160円×冊数 (送料別)

○健康ウォーキングハンドブック

1冊 520円 (送料込) / 2冊以上 420円×冊数 (送料別)

○健康ウォーキング手帳

1冊 240円 (送料込) / 2冊以上 160円×冊数 (送料別)

○いきいきクラブ体操関連教材

・DVD (映像)

1枚 2,280円 (送料込) / 2枚以上 1,860円×枚数 (送料別)

・CD (音楽)

1枚 1,050円 (送料込) / 2枚以上 830円×枚数 (送料別)

※ご注文は、県老連事務局あてに電話・FAX又はメールでお申し込みください。

電話：028-621-4787 / FAX：028-621-4767

メール：roujin33@maple.ocn.ne.jp

3/10 締切

当日消印有効



応募先

〒360-0855
宇都宮市駒生町三三三七一
とちぎ健康の森2階
栃木県老人クラブ連合会まで

★ハガキに解答(①～⑤までの読み方)と住所、氏名、所属クラブ名、電話番号を明記のうえ、県老連事務局までご応募ください。
★正解者の中から抽選で5名の方に粗品を贈呈します。(読み方と当選結果は次号掲載)

★次の①～⑤の読み方を答えください。

- ① 霜
- ② 霰
- ③ 氷柱
- ④ 懐炉
- ⑤ 湯湯婆

寒い季節になりました！というこで、「冬」をテーマにクイズにしました。



第143号(10月10日発行)の答え

- ① 朱欒 (すぼく) ② 烏瓜 (からすつり)
- ③ 稲架 (はざ) ④ 啄木鳥 (きつつき)
- ⑤ 青梗菜 (ちんげんざう)

多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

応募総数16通、全問正解は15通でした。厳正に抽選をさせていただいた結果、次の5名の方に粗品をお送りいたします。

- ☆西浦さち子さん (宇都宮市 東原南寿会)
- ☆茂木宏一郎さん (足利市 里矢場長寿会)
- ☆斉藤繁夫さん (小山市 横倉新田長寿会)
- ☆長谷川ヨシ子さん (那須烏山市 月次いきいきクラブ)
- ☆深津貞夫さん (壬生町 緑友会)

編集後記

★新年あけましておめでとうございませう。

本年もよろしく願い申し上げます。
★本誌記事にもありますが、11月に富山市で開催された全国大会において小山市老連が事例発表を行いました。平成26年度、小山市で新規に結成されたクラブが5つあつたことから、第2部会で事例発表を行う3団体の一つに選ばれました。部会では、大会の配布資料に載せた小山市長と市老連会長の連名による自治会長あての「老人クラブ結成」への協力要請通知が大きな関心を呼びました。即ち「どうしたらこんな通知が出せるのか」です。老人クラブの活性化に自治会との連携が大きな効果を持つのは皆分かっているのに、なかなかそれが実現できていないというのが全国の実態だと改めて感じたい次第です。各市町老連におきましても小山市の事例を是非参考にさせていただきたいと思っております。

★最後に悲しい報告をいたします。本誌にも訃報を掲載しましたが、昨年12月14日、県老連副会長で那珂川町老連会長の小泉哲也さんが急逝なされました。小泉副会長には県老連の様々な事業に積極的にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

(白根沢)